

日本保険学会平成25年度第2回理事会議事録

●日時：平成25年9月20日（金）、17：00～18：00

●場所：損保会館会議室

1. 審議事項

(1) 入退会者

江澤理事長より 入会者20名、退会者7名の説明があり、異議なく了承した。

(2) 賛助会員

理事長より 全国生命保険労働組合連合会を賛助会員とすることにつき提案があり、異議なく了承した。なお、年会費は5万円である。

(3) 平成24年度事業報告（案）

理事長より、前回理事会に配布した平成24年度事業報告（案）につき確認を求めたところ 異議なく承認された。これは総会の際の決議資料となる。

(4) 全国大会準備状況

山野大会実行委員長が欠席のため、事務局より 以下のとおり報告があり、これを了承した。

① 9月24日を申込締切日としているが昨日までに約100名の申し込みを受け付けた。

② 「大会アンケート」については、昨年どおり実施する。シンポジウムと共通論題の質問受付については、質問票の配布を行なうかは未定。

(5) 名誉会員推薦

理事長より、「名誉会員推薦基準に関する理事会申し合わせ事項」（平成16年5月28日、理事会決定）に基づき、下記1名を名誉会員に推薦したい旨、提案があった（敬称略）。

佐藤 保久 （元流通科学大学教授）

特に異議なく了承し、10月総会に諮ることになった。

(6) 九州支部からの要望書

理事長より、本日開催された企画委員会において、九州支部から ①支部から部会への昇格、②支部委員数の変更の要望を受けたが、同委員会では、1994年支部創設以来の活動実績を評価して、これを承認したとの報告があった。これを受けて審議したところ、企画委員会の結論を追認することとした。

なお、これに伴い本年度の総会において必要な会則改正を行なうこととした。

(7) 役員等候補者選考委員会委員選任

理事長より、同日開催された企画委員会において、「役員等候補者選考委員会」委員候補者として 以下6名を選出したとの報告があり、これを了承した。

この委員会（任期 2 年）は、総会時の役員改選に際して、新理事、新評議員を選出する役割があり、委員候補者は、今年 10 月総会にて承認を得る必要がある。

・理事： 石田 成則、河本 淳孝、福田 弥夫

・評議員：稲葉 浩幸、宮地 朋果、山本 哲生

（８）平成25年度総会・評議員会関連

事務局より 総会ならびに評議員会の議題につき、提案があり、これを了承した。

次いで、理事長より 総会の議長は、慣例として総会出席予定者のうち年長の方に依頼しており、今年も昨年同様 井口理事にお願いしたい旨、あわせて、平成24年決算報告にかかわる監査報告については遠藤監事にお願いしたい旨、提案があり、了承を得た。

更に、理事長より、評議員会の主要論議テーマは昨年度に引き続き「学会活性化」とし、平成19年の将来構想委員会のフォローアップとして実施したらどうかとの提案があり、承認された。なお、評議員会については活性化を図るため、今年も50分間実施する。

（９）平成29年度全国大会会場

理事長より、平成29年度の全国大会の会場につき、久保理事から滋賀大学で開催する用意があるとの申し出を受け、企画委員会にて審議の上、これを了承したとの報告があった。理事会でも異議なくこれを承認することとした。

なお、今後の大会予定は、平成26年度 香川大学、平成27年度 慶応義塾大学、平成28年度 立命館大学となっている。

2. 報告事項

（１）委員会等報告

①企画委員会

理事長より、当日開催された企画委員会において、平成 27 年度に慶應義塾大学で開催される保険学会 75 周年記念大会につき、堀田大会実行委員長から企画案が披露されたことが報告された。

②編集委員会

中浜委員長より、保険学雑誌編集方針の一部変更があったこと、および大会、部会報告の「保険学雑誌」掲載状況につき 報告があった。

あわせて、平成 21 年度より毎年「保険学雑誌」12 月号は特集号として発行してきたが、平成 27 年度に「保険学会創立 75 周年・保険学雑誌創刊 120 周年記念号」を予定していることから、平成 26 年 12 月号については特集号を見送るとの報告があった。

③国際交流委員会

中林委員長より、8 月に開催された APRIA ニューヨーク大会に学会を代表して、大倉評議員および柳瀬会員が参加したことが報告された。今回、学会推薦の Board of

Governor (BOG)である大倉評議員が3年の任期満了により、退任し、後任として、学会推薦の柳瀬会員が、選任された。

次いで、3月の理事会決定にもとづき、APRIAの関東地区での報告会を12月20日（関東部会の開催日に同じ）に国際交流委員会主催で開催することになったとの報告があった。関西地区および九州地区での報告会のあり方については、今後検討する。

④関東部会、関西部会、九州支部

堀田部会長、井口部会長および石田理事より 最近の部会、支部の活動状況につき、報告があった。

（2）保険学雑誌バックナンバーの扱い

事務局より、昨年9月の理事会において、経費削減の観点から外部倉庫に保管を委託している保険学雑誌のバックナンバーの保管部数を原則として、1号につき5部とし、それ以上の保管在庫は廃棄したい、との提案を行ない、承認を得たこと、その際、中国、韓国等の大学などで、研究のために保険学雑誌のバックナンバーを希望するところがあれば、無償で贈与する（但し、送料、関税などは受入れ大学等が負担）ことが決定し、1年間が経過したが 具体的な話はなかった、との報告があった。次回評議員会でも再度報告し、その上で今後の方針を決めることとした。